



新しい風が吹く。これからの世代へ期待



先日とちぎユースパートナーズネットワークと栃木県による「地域づくり担い手育成事業」に参加している高校生や大学生、若手社会人10人が、FBうつのみやの活動の現場を実際に見て、体験を通して学びました。

「疑似ケース会議」として、どんな人が相談に来ているのかを知ってもらったり、倉庫で実際に食品を並べたり、どんな食品を出したらいいのか話し合ったりしました。人数の圧に負けないよう私も必死でしたが、彼らの真剣な眼差しを見て「きっと未来も大丈夫だ」と、胸が熱くなりました。

また、11月20日には「来年何するか会議」があり、フードバンクや相談支援、ラジオなど様々な分野で活動するボランティアが一斉に集まり、未来へのアイデアを出し合いました。「フードバンク Light」として簡易版FBを各地に展開する、農家さんと協力して「フードバンク米」を作る、食品が必要な方に自転車配送する「フーパーイーツ」…などなど、面白いアイデアがたくさん出ました。相談支援は、昨今のコロナ禍で相談者が増加し、より多くの方の協力が必要になっていることを共有しました。そして“学校では教えてくれない「生き方」を知ろう”という合言葉でボランティアを呼びかけていこう、というアイデアが出ました。読んでいる皆さんも、FBで何かしたいということがあれば一緒に活動しましょう。

会場を見渡すと、新しい世代が増えたなあ…と思いつつ、未来を議論する彼らは、未来を切り開く宝のように感じました。なんだか歳を感じてしまいますね。まだ若いと自分に言い聞かせようと思った一幕でした。

(曾根)

●インターン生 伊藤さんの感想

自分がFBの活動に参加するきっかけも、昨年のこの事業でした。今はインターン生として「参加する」側から、参加したい人を「受け入れる」側を経験し、多角的に活動の意義を振り返ることができました。団体紹介を任せられましたが、情報をわかりやすく伝えることの難しさを実感。どのような話し方・伝え方が有効かを学べたので、今後にも生かしていきたいです。

「自分には遠い存在だった、この国の問題を垣間見えています」

中村皓彦さん (宇都宮大学4年)



大学2年の頃から続けているVレンジャー(学生・若者ボランティアチーム。「キャンプで救う子どもの貧困」をモットーに活動)の活動に加え、11月からフードバンクで相談支援のお手伝いを始めました。元々興味を持っていたところ、とちぎVネットの矢野さんから「公務員になるなら、生活保護や困窮者支援について知っておいた方がいいよ」とお声がけ頂いたことが始めたきっかけです。

週に1回ほど事務所にいますが、様々な方がフードバンクを利用されます。一人ひとりと接する中で、これまではニュースやドキュメンタリー番組の中で見ていて、どこか自分には遠い存在だと思っていた、この国が抱える問題の数々を垣間見ている気がします。

この春には宇都宮大学を卒業し、新社会人としてのスタートを切ります。一人の人間として暖かく成長できるよう、残された日々を大切に過ごします。また、自分と同世代の学生にも相談支援の現場を見て、身近にある地域の課題を実感してほしいです。

今月のSOS

FB 相談世帯数（食品提供回数）

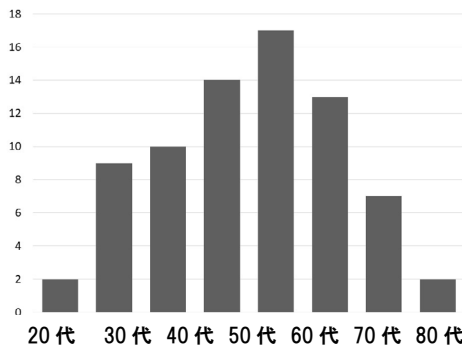
10月 104世帯（支援123回）

11月 114世帯（支援145回）

FB 主な利用理由(2021/10-11)* 複数回答・総数 101 人

FB 年代別 相談者数 (2021/10-11)

低収入・ 低年金 66	失業・就職 48		
	金銭管理	家賃滞納	DV・離婚
	13	10	7
	9	6	7
		病気・障がい	子育て・ 介護
		9	6
		住居	精神疾患
		2	1



コロナ禍の影響
がじわじわと深刻化しています。

多い日には1日
25人の相談がありました。

今月のSOS の一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して抜粋掲載。

10月 104世帯 (複数支援 123回)

10/6 ● SW 男 30代・宇都宮市。子どもが5人(一番下は1歳の双子)いる。医療費や生活保護申請のことで、病院や生活保護窓口と揉めてしまった。今後の収入予定がない。家賃7万円&車2台所有。⇒米20kg食品14kg支援。

10/7 ● GR 女 60代・宇都宮市。お金がなくなってしまって困窮。筆談でしか話ができな

いため、詳細なことは不明。聴覚障害とすることでコミュニケーションが困難になっている。

⇒食品6kg支援。

10/6 ● IE 男 20代・宇都宮市。母親と兄と3人暮らし。兄弟で足場の仕事をしていたが、出勤日数が少なくなり困窮状態になってしまった。⇒食品12kg米5kg支援。

10/15 ● YT 男 50代・宇都宮市。生保利用中だが、冷蔵庫が壊れ買換えお金が無くなった。通帳残高490円。⇒米5kg食品8kg支援。

10/16 ● AK 女 60代・宇都宮市。コロナ禍でホテルのベットのメイキングの仕事が少な

くなり収入が減り生活が困窮。追加の仕事は見つけたが給与をもらうまでの食品支援をお願いしたい。⇒米5kg食品8kg支援。

10/16 ● RU 女 20代・宇都宮市。知的障害があり、グループホームに8月から入所。給料は見込み9万。ホーム代7万のため生活厳しい。障害年金の申請を考えている。⇒食品4kg支援。

10/19 ● AS 女 40代・宇都宮市。先日離婚し、宇都宮でアパートを確保。生保申請し受給までのつなぎで食品欲しい。まだガスが開通していない。⇒食品8kg支援

10/21 ● KM 男 40代・宇都宮市。2年前から病気で仕事ができなくなった。傷病手当金と失業保険で生活してきたが、それも終わってしまう。5日前に生活福祉課に相談に行ってきた。⇒生活保護を申請するように助言。⇒米3kg食品5kg支援。

10/26 ● TU 男 60代・宇都宮市。代行の仕事をしていてコロナが原因で解雇されてしまった。それ以降仕事を探したが見つからず生活保護の申請をした。生活保護費を受給するまでのつなぎの食品を支援してもらいたい。38歳の長男と生活しているが5年間引きこもり生活をしている。⇒米10kg食品7kg支援。

10/27 ● IT 男 60代・宇都宮市。仕事を失ってから、仕事を探して2年8か月経ったが仕事が見つからない。貯金を切り崩して生活してきたが底をついてしまった。社協の支援を受け年金の届け出と生活保護

FBでたすかりました 「頼れる人が身近にいたんだ」 食品+生活相談で安心感

水沼裕子さん (仮名：45歳 / 宇都宮)

12/4の第16回きずなセット提供プロジェクトで初めて支援を受けました。私は宇都宮で小学生の子ども2人と暮らしているシングルマザーです。今年初めに交通事故で夫を亡くし、1人で頑張ってきたが、体力的にも精神的にも限界が近くなっていました。そんな中、ママ友グループLINEで情報が流れたことから食品支援の情報を知りました。

対面での食品配布会なので当日は緊張して会場に向かいましたが、スタッフさんが温かく迎え入れてくれて食品を手渡してくれました。

また、医療スタッフの方もいて生活相談に乗ってもらい、更に宇都宮市つながりサポート女性支援事業による生理用品もいただきました。

頼れる人たちがこんなに身近にいたんだ...という安心感で胸がいっぱいになりました。



SOSの途中

日本に31年住んでいるAT(仮名)さん。タンクトップの上半身は綺麗な模様の刺青で埋め尽くされ、たくさんのピアスをしている。6年前から難民申請をしているという。現在「仮放免」とのこと。

ATさんは、日本人女性と婚姻関係にあったが、昨年10月に離婚した。その理由は結婚を控えた長男がおり(どうも母親違いの子

どもが2人居るらしい)、相手方の親族に「父親が外国人だとはとても言えないので離婚して欲しい」と、妻より迫られたことだった。確かに身体が大きく、ハンクロックミュージシャンの様な出で立ち、いわゆる一般的な日本人がその姿を見ると奇異に感じる。離婚の理由がこれだけではないだろうが、ATさんと面と向かってみるとなぜか納得がいてしまう。

本題に戻ろう。日本人と結婚して「日本人の配偶者等」という在留資格(「本邦において有する身分または地位」いわゆる居住資格)を得ていたATさん。離婚により6か月後にこの資格が消失してしまい、在留資格が取り消され、日本から退去強制を受けた結果、細かな経過は聴いていないが、地方出入国在留管理局に収容され、現在は保証金の納付と引換



小澤勇治 ● 本会職員

離婚をすると、
日本にいられない？
仕事からも医療からも隔絶
ATさん(仮名)

なる。まさに「この地に住み働く外国のひと」で地域コミュニティの構成員である。しかし、「仮放免」の外国人(難民申請中も含む)は地域での生存が「公」に保障されていないのだ。

また、腰椎椎間板ヘルニアの持病をもつATさん。診てくれる医療機関はあるが薬代も含めると1回の受診で2万円以上の現金が必要とのこと。処方された薬の量を半分ずつに間引いて服用しているらしい。しかし右足の痺れがひどくなりとても辛そうであった。無料低額診療事業の相談ができる医療機関を紹介し、MSW(医療相談)を訪ねてみることをお勧めした。食品を受け取ったATさん。早速、「病院へ行ってみる」とFBをあとにした。

就労や医療から隔絶されたこの日本では、FBの食品の支援は大いに助かるものであっただろう。ATさんはこれからどうやって生きていくのだろうか？

を受けることになったので、それまでの食品を支援してもらいたい。⇒食品 5kg 支援。

10/28 ● UO 男 50代・宇都宮市。体調不良で仕事もできなくお金も無くなってしまった。ここ2か月までもに食事をとれていない。体も衰弱してしまっていて動くことができない状態だ。とにかく食事をして体力を戻したいので食品を届けてもらいたい。市役所と社会福祉協議会に連絡するも支援を断られてしまった。⇒食品 3kg 米 3kg 支援(緊急のため配送支援した)。

11月114世帯(複数支援145回)

11/6 ● MO 男 40代・宇都宮市。80代の両親の介護をしており、働けずに困窮している。⇒食品 6kg 経口補水液 13kg 支援。

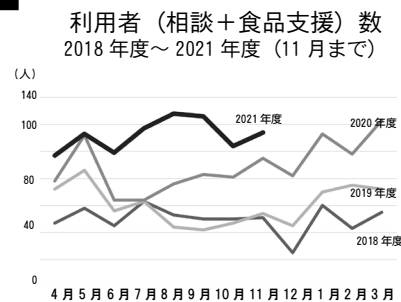
11/9 ● EY 男 30代・宇都宮市。1週間前に県外から宇都宮市に職探しに来た。以前は建設関係の仕事をしていた。マンガ喫茶に寝泊まりしていたがお金が無くなり2日前から野宿している。明日、仕事(寮付き)の面接がある。⇒調理不要の食品 3kg 支援。

11/9 ● SW 女 10代・宇都宮市。父が県外に仕事しているので、ほとんど家にいない。お金をもらう機会がないので困窮状態になっている。自分も妹も学校にも行けておらず、引きこもり気味なので活動の場がほしい。⇒米 5kg 食品生理用品等 11kg を支援。ボランティアに来ることを進めた。

11/19 ● GR 男 50代・宇都宮市。3年前に体調で仕事を退職した。それ以降は貯金を切り崩しながら仕事を探していた。しかし、仕事が見つからず貯金が底をついてきたので市役所に相談したところ、ハローワークに行くように言われ、そこでFBを紹介された。⇒食品 4kg 支援。

11/30 ● IE 女 40代・宇都宮市。本人精神障害(3級)、小4の娘と二人暮らしのシングルマザー。病気になってから働いておらず、家賃滞納あった。大家の支援により生保受給へつながる。受給開始までのつなぎで食品欲しい。⇒米 5kg 食品 13kg 支援。

2021年度のFB利用者増えています。



2021年度のFB利用者(相談支援、食品支援のみを含む)の人数を、過去3年間と比較したグラフです。

- ①どの月をみても、2021年度の利用者数は過去3年間に比べて多いです。(月平均:2018年度56人、2019年度70人、2020年度108人、2021年度155人)
- ②4月～11月の利用人数で比較すると、2018年度417人、2019年度464人、2020年度653人、2021年度898人。
- ③毎年1月は利用者が増大する傾向にあります。食品、相談対応のボランティアとともにピンチです。ぜひお力添えをお願いします。

フードバンク応援団！

お供え物を食に困る人へ。地域の新しいサイクル

天台宗正光寺 西村慈祐さん



雀宮の天台宗寺院・正光寺では、お供え物セット『えこう』をはじめました。傷んだり期限が切れたりした法事のお供え物が食品ロスとなるのが以前の大きな悩み。その答えとして、レトルト・缶詰・インスタント食品をお供え物セットにして、法事後そのままフードバンクに提供することで「みんなの力を地域に届ける」新しいサイクルです。

『えこう』は(大)3,000円、(中)5,000円に加えて、一般の方も気軽な寄付として利用できる(小)2000円の3タイプ。もれなくオリジナルミニトートバッグを差し上げています。お寺・お供え物・食材・慈善活動・社会問題、みんな全国どこにでもあるもの。地域の取組みとして広がりを『えこう』にたくさん可能性を感じています。お申込みは正光寺 028-653-1165 まで！

◆回向(えこう)とは…おさめた幸徳を他に回して、自他ともに助けとすること。



インターン生 高校生向け「出張FB授業」を企画

9月から大学生2人をインターン生として受け入れています。インターン生は、ボランティアより一歩踏み込んで活動していただいています。酸いも甘いも経験していただいているが、どんなことを感じているのか？今回は寺田さんに想いをお聞きしました。



↑ミヤラジにも出演しました！一番左が寺田さん。

●宇都宮大学2年 寺田 啓人さん

相談支援の同席や、生活保護制度についても学んでいます。これを機に貧困問題を深く考えるようになり、現状を広く発信していきたいという想いが強くなりました。

現在は高校生を対象にFBの出前授業を企画中。貧困に対する講義の後、生活相談や食品受け渡しなど実際の流れをワークショップ形式で行います。セーフティーネットの一役を担うFBについて、高校生にも知ってもらえるよう、頑張ります！

F B ボランティア募集

●問 /028-348-3412

おきがるに ご連絡ください

・相談聞き取りボランティア

FBに「食品ほしい」と来る人の話を聞きシートに記入します。不安な人は研修も受けられます。1回2時間、週1・2回程度。

・パソコン入力ボランティア★大募集

食品の入庫・出庫伝票のデータをパソコンに打ち込みます。週1回程度。

・食品回収ボランティア★大募集

スーパーや施設に置いてあるきずなボックスの食品の回収のために車を運転します。月2～4回。

・食品管理ボランティア

入庫した食品の賞味期限を確認し、期限ごとに食品棚に並べます。相談者へ渡す食品も準備します。週に1～2日、2～4時間位が目安です。

サンタ de クリーンで「ふーばーず」入賞(寄付まだまだ受付中)



12/19に行われたサンタ de クリーンは、県内14の子ども支援団体の合同チャリティイベントで、FBうつのみやも寄付先団体として参加しています。「ふーばーず」としてボランティアの若者チームが宇都宮のまちなかをゴミ拾いしてきれいにし、「クリーン&ウォーク賞第2位」に入賞しました！サンタが集う心あたたまるイベントでした。

●まだまだ寄付募集中→

12/28 まで



クモクモ川柳
●むせないで
自宅まで
ワンコそば！
●おでん缶
便利だけれど
からしなし！

会員・寄付者 ありがとうございます♡



「もったいない」を
「ありがとう」に。
会員を大募集中！
ボランティアも

◆会費(年間)
◎正会員 12,000円
◎賛助会員 3,000円
◎団体会員 30,000円
◎学生サポーター 1,000円

11/30 現在：正会員41人、賛助150人、団体8)

《10～11月の新規・継続会員》※敬称略

■正会員 / 松本佑司、並木孝夫

■賛助会員 / 池内祐介、小須田るみ、荒木光子、熊田洋子

■団体会員 / (有)越幸商事

《10～11月の寄付者》※敬称略 □寄付合計 / 202,045円

足利銀行本店ブロック、篠山栄二、阿部英生、林 基宣、飯山啓子、平沢好美、
恵光寺、岩坂瑞彬、レンタハウス(有)、㈱リパテック、戸祭地区民生委員児童
委員協議会、若林 薫、八洋フーズ

会費・寄付はこちら ※匿名希望の方はご連絡ください

■銀行

栃木銀行 馬場町支店 普通 1086399

名義 / 特定非営利活動法人フードバンクうつのみや 理事徳山篤
※領収書発行のため、メールか電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局

宇都宮 00260-2-90882

特定非営利活動法人フードバンクうつのみや

■Webサイトから

クレジットカードでのご寄付もできます。



HP



Twitter